

小さな交通需要に対応した 交通サービスの検討

実証実験運行内容・仕様

〈第13回滝沢市地域公共交通会議〉

令和3年3月15日（月）

岩手県滝沢市

検討の目的

地域公共交通網形成計画（平成29年策定）

公共交通の利便性向上プロジェクト

施策1-2 市内移動における利便性向上

② 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討

小さな交通需要が分散する中山間地域において、誰でも安心して外出できる環境を確保するため、既存の交通資源を活用し、効率的な交通サービスの導入を検討する

- **一本木、柳沢、姥屋敷及び小岩井**地域の小規模な需要に対する**効率的かつ効果的**な公共交通サービスを検討します
- 令和3年度内に実施する**実証実験の運行計画**を策定します

滝沢市地域公共交通網形成計画



平成29年9月

 滝沢市

第12回滝沢市地域公共交通会議における課題の整理

①解決しなければならない課題

- 1) 小需要地域における交通弱者の移動手段の確保・効率化
- 2) 小需要地域にタクシーがすぐに配車されない・配車が難しい

②交通サービス実現のための課題

- 1) 小需要地域の最大の移動需要とニーズの正確な把握
- 2) 採算性や費用負担の考え方など、庁内・運行事業者との調整の必要性
- 3) サービスレベルの改善とその改善内容が受け入れられるか

→ <調査①> 小需要地域における性格な移動特性、最大の移動需要
どこからどこまで、どんな人が、どのくらいの頻度で、費用は、……

→ <調査②> サービスレベルへの評価、利用されるニーズ、戸口輸送への適応
すぐに配車の“すぐ”とは、どんな目的で移動するか、利用しやすい方法は、……

→ **実証実験で調査を実施し、本格運行に向けた交通サービスを検討**

第12回滝沢市地域公共交通会議におけるご意見

・ **新しい仕組みへの疑問点や運行・運用方法についてご意見がありました**

意見① 新しいシステムを使う場合の周知や使い方が難しい場合の対応は？ (四戸委員)
予めしっかり説明し体験してもらうことが大事 (宇佐美会長)

対応方針 2つの自治会に限られるため、回覧や広報を加えて直接地域に入り説明する
実際に使用される機材を準備し、デモや体験をしていただき使い方を周知することを検討する

意見② 複数の事業者で持ち回りの場合、専用の電話回線を設置した方が良い (大野委員)

対応方針 複数の事業者が参加を希望した場合、専用回線や予約方法により検討する
周知する番号はなるべく少なくし、乗車許可証に記載する等にて分かりやすく示すこととする

意見③ 実証実験時は無料だが、本格運行時は有料か？ (大野委員)

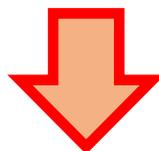
対応方針 実証実験では、貸切運用として借り上げるため、利用者の負担はない
本格運行時には、一定の費用負担をお願いする

意見④ 実証実験時のメーターの運用方法は？ (大野委員)

対応方針 「貸切」の表示とし、運行経路・距離は乗降システムにより把握する

第12回滝沢市地域公共交通会議後の検討内容

- ・ご意見を踏まえ、**運行内容・仕様（案）**を作成するために関係者と協議しました
- ・令和3年2月12日（金）地元事業者 **有限会社滝沢交通ヒアリング**
- ・令和3年2月25日（木）**盛岡地区タクシー協会ヒアリング**



- ・運行エリアは、効率的な運行のため営業所に近い地域としたい（(有)滝沢交通）
- ・事業者が多いと利用しづらいのではないか（タクシー協会）
- ・一般の利用者と実証実験の利用者が分かる仕組みとした方が良い（タクシー協会）

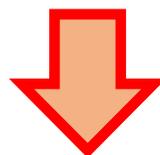
実証実験の目的

- ・ 実証実験では、**本格運行をどのように実施することが有効であるか判断材料を得ることを目的とします**

小需要地域における効率的かつ効果的な公共交通サービスの検討のため

①小需要地域における移動特性と最大の移動需要の把握

②サービスレベルや戸口輸送への適応に関する評価



本格運行に向けた判断材料を得る

実証実験の運行内容

- ・乗車許可証（ICカード型）を保有する方が利用できる**専用車両を運行します**
- ・小需要地域⇔市街地部 等の移動において、**通常のタクシーに近い移動ができます**

実証実験の実施概要

項目	内容
実証実験対象	柳沢・姥屋敷地区に居住する住民
運行内容	小需要地域⇔市街地部 (市街地部の乗降場所を指定) 小需要地域⇔小需要地域
実施時期	令和3年10月頃 (1ヶ月間を想定)
運行曜日	週3回 (月・水・金曜日)
運行時間	8～16時 (12～13時休憩、16時降車終了)
利用者負担	無料 (事前登録制)
運行形態	タクシー借上げ (貸切運行)

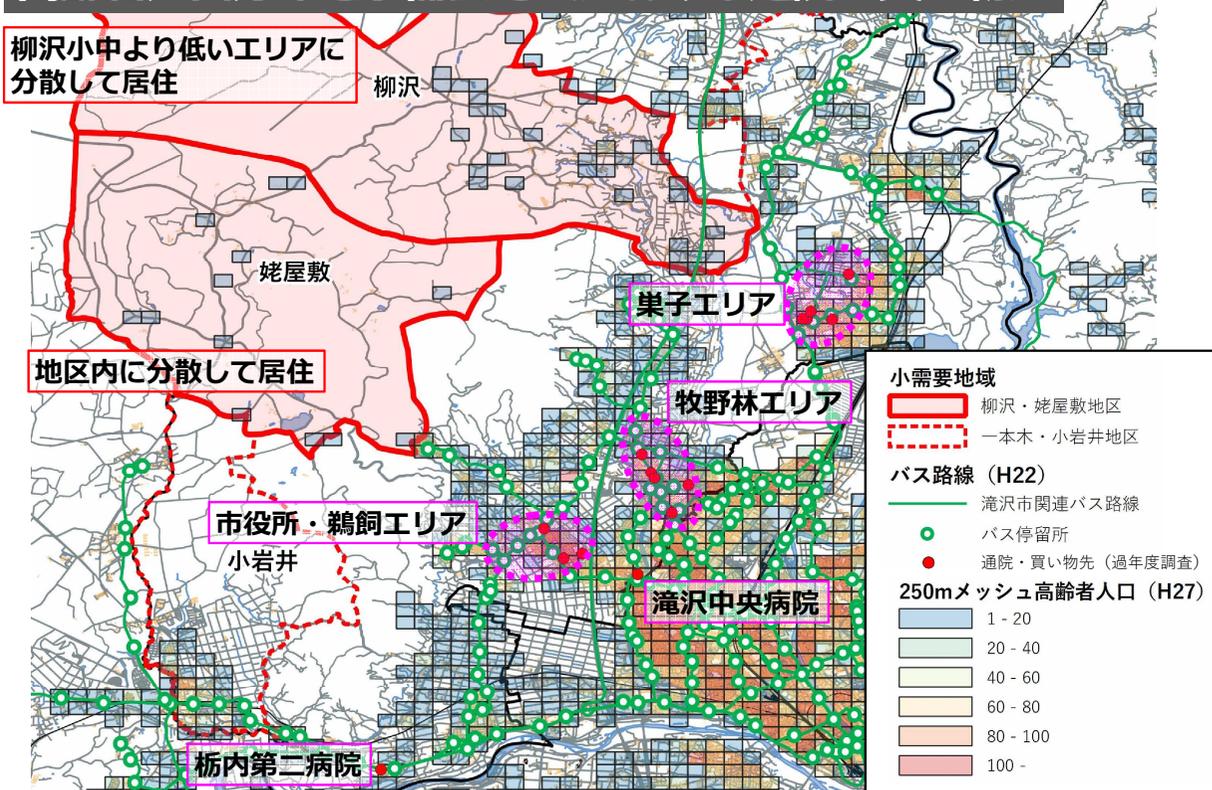
実証実験の運行イメージ



実証実験の運行内容

- 市街地部における乗降場所は、①乗継拠点、②主要商業施設、③医療施設に設定しました（過年度アンケート調査 買い物・通院先より）

高齢者人口分布と小需要地域における通院・買い物先



乗継拠点

鉄道・路線バスへ乗り換え、盛岡方面への移動が可能な場所

滝沢市役所・ビッググループ滝沢、ふるさと交流館、IGR鉄道駅

主要商業施設

小需要地域における主要な買い物先
ビッグハウス、マイヤ、いわて生協

医療施設

小需要地域における通院先
滝沢中央病院、栃内第二病院、個人医院

実証実験の運行内容

- ・ 実証実験の専用車両は、**通常のタクシー車両を「貸切運用」とします**
- ・ **メーターは「貸切」表示、車両側面にはマグネットシートを貼付し差別化します**

専用車両のイメージ

貸切

貸切車



岩手県 滝沢市

小さな交通需要に対応した交通サービス

実証実験運行中

1号車

柳沢・姥屋敷地区

⇔ 滝沢市街地



ご利用・ご予約：019-000-0000

「乗車許可証」をご提示ください

実証運行中は前面・背面、メーター等の表示は
「貸切」「貸切車」の表示となる

車両側面等、**実証実験車両・行き先が一目で分かる表示**を掲げ、一般利用者が通常のタクシーと間違えることがないようにする

実証実験の運行内容

- ・乗車許可証は自治会や市役所窓口にて配布する予定です
- ・乗車許可証に付与する属性を取得（事前登録制）、調査への協力を依頼します

乗車許可証のイメージ



柳沢・姥屋敷地区で個別の専用回線を設置
(柳沢地区のみ前半・後半で2つの回線を記載)
2地区のどちらの利用者か一目で分かるように色で区別

乗車許可証の配布の流れ

- ① 実証実験に参加したい旨を自治会・市役所窓口へ申請
- ② 乗車許可証に付与する属性、実験後に調査を協力していただくための連絡先等を申請用紙等へ記入
- ③ 利用ルール、乗降方法等の説明を受ける
- ④ 乗車許可証（ICカード型）を受け取り、利用開始

**実証実験の対象者であり、
利用することが想定される方であれば誰でも取得可能**

乗車許可証（ICカード型）による乗降データの取得

- 乗車許可証（ICカード型）とスマートフォンアプリRabiPeoCaにかざすことで、**本格運行に最適な交通サービス**や**運行経費等の検討**に活用します

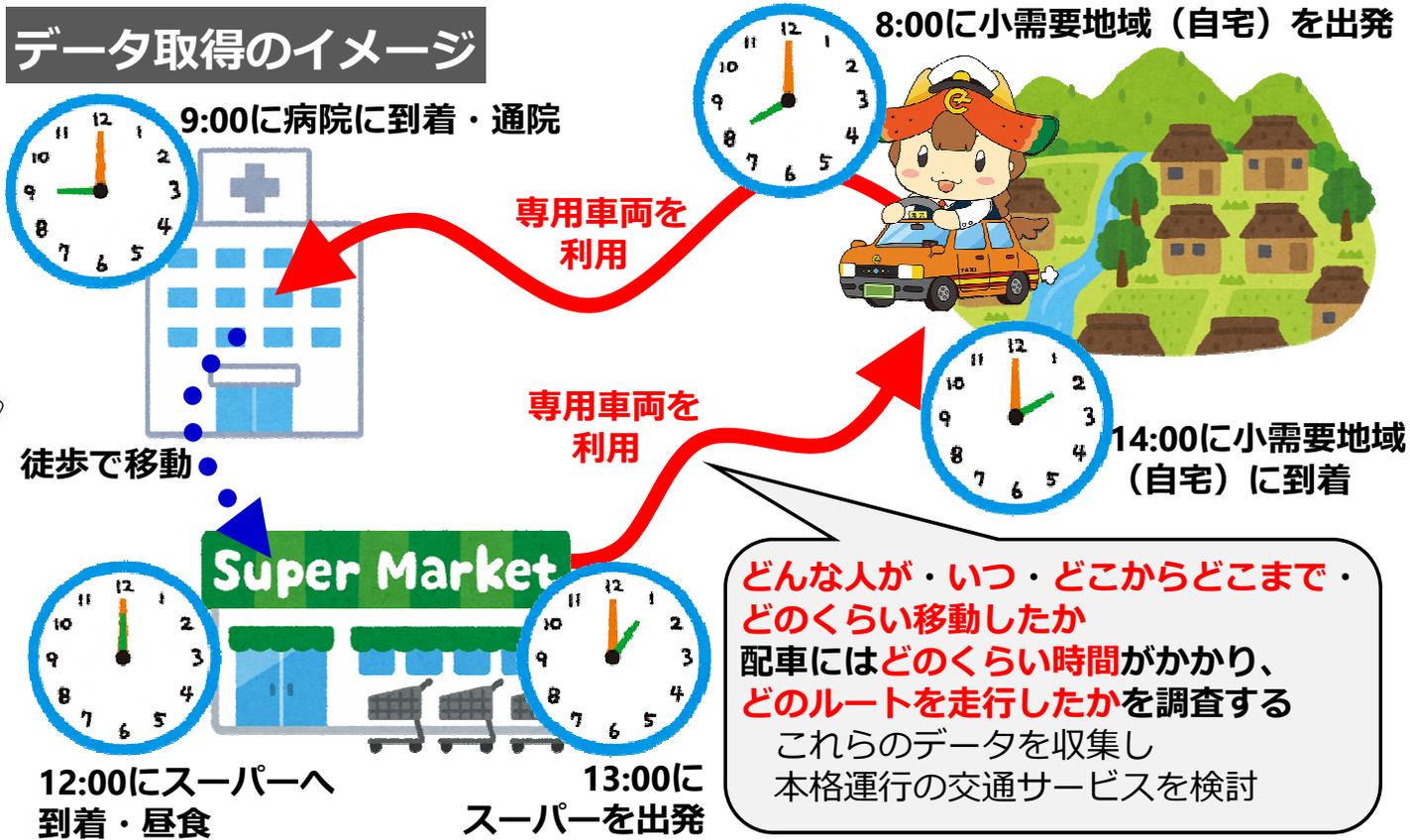
タッチ操作のイメージ



タクシー車内に設置された読み取り端末に乗車許可証をかざすことで、**小需要地域における移動特性を把握する**

ICカード等の利用に不慣れな方を対象に利用前にタッチ操作を体験する機会を設ける

データ取得のイメージ



専用車両の利用方法

- ・ 専用車両を利用するには、通常のタクシーと同様「予約」の連絡が必要になります
- ・ 事前予約は前日の16時まで受け付けます

①乗車許可証記載の
実験専用電話番号へ
予約を入れる



氏名 配車場所（住所）
目的地（降車場所）
を伝達

②配車予定時刻を確認
分かりやすい場所で待機



配車予定時間の伝達
指定時間までに移動

③乗車許可証を準備
実証実験車両を確認



乗車許可証を事前に準備
専用車両であることを
確認

④乗車許可証を提示
読み取り端末にタッチ
目的地を再度告げる



乗車許可証を掲示
複数人乗車時は全員
分からない場合は乗務員に確認

⑤降車時も乗車許可証を
しっかりタッチ



降車時も複数人乗車時は
全員のタッチが必要

実証実験時の利用ルール

- ・ 小需要地域の交通サービスは、**タクシーを活用した公共交通**として位置付けています
- ・ 利用ルールに適さない移動は、**通常のタクシーや福祉タクシー利用**を促します

①乗降時に必ず
乗車許可証をタッチ



乗車時も降車時も
複数人で乗車時は**全員**

②市街地のみ・市外への
利用はできない

カワトク、フェザン、
県立中央病院 等



市街地は**路線バス**を利用
盛岡方面へは**鉄道・
路線バス**へ乗り換え

③私的に専用車両を拘束
しない



買物・私用は
利用前に**済ませる**

④公共交通として不適切
な利用はできない



不適切な回数
の予約
予約の故意なキャンセル
は認めない

⑤新型コロナウイルス
対策は万全に



乗車時は**マスク着用**
37.5℃以上の発熱等は
利用しない

実証実験の委託内容

- ・ 実証実験時には、タクシー事業者に**専用車両の運行等の主要な業務を委託**します
- ・ 「貸切運用」のため、運行費用は運行にあたる日数・時間・台数にて算出します

委託内容①

予約・配車業務

- ・ 専用回線を利用し利用者の予約を受ける
- ・ 自社設備等を利用し、指定の場所へ配車する
- ・ 予約・配車状況を電子データで整理し提供する

委託内容②

専用車両の運行業務

- ・ 実証実験の運行内容通りに、専用車両を安全に運行する
- ・ 運行にはタクシー事業者のノウハウを活用
- ・ 予約待ちが極力少なくなるよう効率的に運行する

委託内容③

調査への協力・情報提供

- ・ 乗降許可証による乗降データの調査に協力する
- ・ 実証実験前後のタクシー利用の動向を定期的に報告する

専用車両の運行ルール

・専用車両は**公共交通**という視点であり、**実証実験の目的を達成するために**、**運行のルールを定めています。**

①乗車許可証を必ず確認



乗車許可証を確認
複数人で乗車時は**全員**
(タッチ操作の確認)

②乗務員・配車担当判断
の相乗りはさせない



一緒にお出かけ等
利用者が依頼する
相乗りは可能

③ルール外の移動は
通常のタクシー利用へ



予約時にルール外と
判断される場合は
通常のタクシーを宣伝

④運行時間の空車・回送
時に営業走行しない



運行時間は貸切借上げ中
正確な経路データが
とれない

⑤軽作業は委託費用内で
対応



アンケート調査票の
配布・回収等の軽作業が
発生する場合あり

委託予定タクシー事業者

- ・ 本格運行を見据え、実証実験への参加にあたり条件を設定しました
- ・ 柳沢地区は**滝沢交通・みたけタクシー**、姥屋敷地区は**岩手中央タクシー**を予定

① 実証実験終了後も本格運行の実現に向けて継続的に協議・調整を行えること

👉 **本格運行時に運行を協力していただける事業者を選定**

② 滝沢市及び滝沢市近隣に事業所・営業所を有していること

👉 **本格運行時に滝沢市への配車が迅速に行える事業者を選定**

③ 「乗車許可証（ICカード型）による乗降データの取得」の調査を実施する都合上、Androidスマートフォンの一般的な操作が可能な乗務員を選定できること

👉 **正確な乗降データを取得できる事業者を選定**

④ 小需要地域に対するタクシーの配車について、滝沢市全域がタクシー営業区域であることから、マイタクシー意識を社内教育で徹底すること

👉 **本格運行時に滝沢市・小需要地域へ確実に配車できる事業者を選定**

⑤ 「実証実験の委託内容・運行ルール」の全てを安全に十分配慮し遂行できること

👉 **実証実験の目的・意図を理解した上で安全運行が行える事業者を選定**

令和3年度に検討する項目・スケジュール

- ・ 委託予定の事業者と詳細な運行・配車方法の仕組みを協議し、実証実験の実施計画を検討します
- ・ 乗車許可証及び各種表示のデザインと合わせて、住民周知・広報を行います

